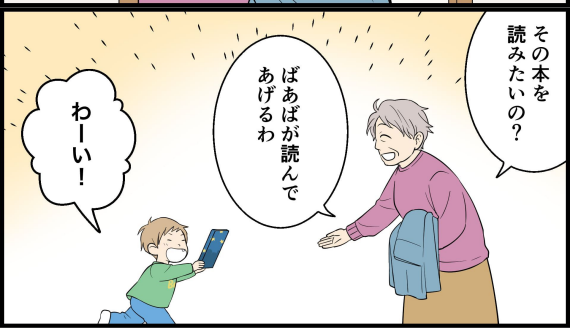
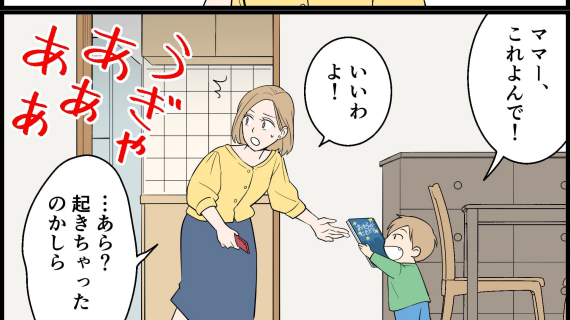
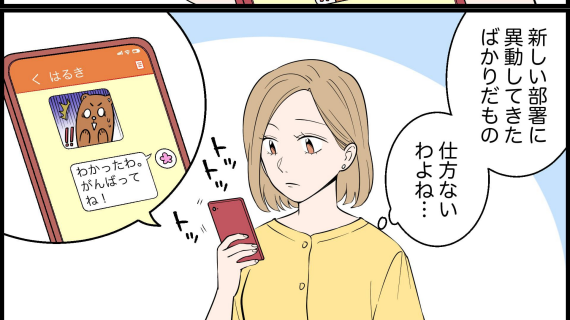




しばらくして

ごめんね！
お待たせ！

ママ

あ、お義母さん
すみません

いいのよ

それより
この本けっこう
面白いわね

最近はこんな
絵本があるのね！

ばあば
もっとよんで！

はーい
まははは

……

ひなが泣くと
気になって

すぐにかまって
しまうけど

ちょっと待てる
ようになった

こうきに
甘えてたかも…

こうきにも

しっかり
向き合わなきゃ…

それに
私、絵本を読んで
あげるのが楽しい
っていう気持ち

最近持てて
なかったかも…

わい
わい

その後

さっきは
すみません

ん？

結局、

絵本のあとに
こうきとお散歩にも
行ってもらっちゃって

あら、
私も楽しかった
んだから

いいのよ！
気にしないで

それに…

…？

家のことも
子どもたちのことも

れいなさんと
2人でやっていけたら
いいなって思ってるの

ぎゅう

お義母さん…

ひとりで抱え
込まなくても
大丈夫

もっと、私のことを
頼ってもらいた
いって思ってるのよ

お義母さんが
手を差し伸べて
くれるたびに

「できてない自分」を
見ているようで
いやだった

でも…
頼ってもいいんだ

お義母さん、
ありがとうございます！

昔から
人に頼ることが
苦手だった

でもそういうことが、
同居していく上では
大切なかもしれない

そう思い始めたのです